

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 475

事務事業名	奨学金事業
-------	-------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会事務局		
課名	教育総務課		
課長名	西村 隆	内線	377
担当者名	磯野 茄菜	内線	371

基本目標		人を育むまち
政策	010203	豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		教育環境の充実
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業コード	03	奨学金事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	優良な生徒及び学業成績が特に優秀な生徒であつて、経済的理由により修学が困難な者。		
意図 対象をどのような状態にしたいか	奨学金を貸与及び給付することにより、修学を促進し、有為な人材を育成する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	貸与型奨学金については、高校生は月額10,000円、大学生は月額30,000円を無利子で貸与する。 給付型奨学金については、大学生を対象とし、月額50,000円を給付する。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	その他
根拠法令、要綱等	大村市奨学基金条例、大村市奨学基金給付条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 貸与件数	計画値	19	20	26	29	
		実績値	19	20	26		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	② 給付件数	計画値	3	3	3	2	
実績値		1	1	1	0		
	達成度	%	33.3%	33.3%	33.3%		
成果指標	① 勉学の意欲のある学生の修学を促進する	計画値					
		実績値					
	達成度	%					
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	5,557	6,037	9,213	8,106	9,298	10,498	11,698	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	5,400	5,880	7,080	7,950	7,920	9,120	10,320	
一般財源	157	157	2,133	156	1,378	1,378	1,378	
② 人件費(千円)	1,609	1,512	2,250	1,494	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.20	0.30	0.20	奨学金の貸与及び給付	奨学金の貸与及び給付	奨学金の貸与及び給付	
時間外勤務(時間)	10	0.2	67	20				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	7,166	7,549	11,463	9,600				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	新規貸与者に対する第1期の振込みを早めにしてほしいという要望があり、例年10月であった第1期の振込を今年度は8月に行った。
事業が抱える問題・課題等	多額の費用がかかる入学時に第1期の振込みを行うことが望ましいが、審査期間をさらに短縮することは、困難である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	勉学の意欲がある学生に経済的な支援を行っており、教育の機会均等を図るとともに、有為な人材を育成するために必要な制度である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民に勉学の機会を与えるため、市で奨学金制度を運営している。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	貸与型については、毎年多数の応募があり、制度が十分に活用されている。給付型についても、これまで以上に制度周知を行い、十分活用していきたい。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	勉学の意欲がある学生に奨学金の貸与及び給付を行っており、経済的支援は有効である。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	選考委員報酬、県育英会負担金、給付型奨学金のみであるので、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
その他の見直し

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	予約奨学生(前年度募集・審査)の導入を検討する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	前年度中に募集、審査を行っておくことで、入学確認後すぐに第1期の振込みを行うことができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。